

境界証明を申請される皆様へ

国有地と隣接する敷地境界確定に必要となる境界証明の申請にあたっては、申請書類の作成、確認及び承諾書発行の省力化を図るため、以下の事項について、申請書作成前に確認願います。

1 提出部数 1部

2 申請書類

(1) 申請書

① 境界証明願

別紙、様式1による。

(2) 添付書類

① 位置図

25,000分の1～50,000分の1の程度の地形図に申請箇所を赤色で旗上げし「申請箇所」と記載してください。

② 委託契約書または委任状の写し

③ 測量経過説明書

別紙、様式2による。

④ 基準点関係

成果表、与点及び新設点を一連とした網図。実際に使用した基準点名を赤のアンダーライン等で表示してください。

⑤ 道路台帳図、河川現況台帳図、用地実測図、用地平面図、画地調整図

境界証明の対象となる境界線を赤で着色し、範囲を旗上げして、申請箇所と記載してください。A2版以上の図面で提出する場合は、可能な限り図面データの提出をお願いします。

座標成果が日本測地系の場合は、平成14年の測量法改正に伴い、世界測地系に座標変換してください。なお、留萌地域の平面直角座標系は第12系に相当します。

⑥ 公図(地籍図等)、地積測量図

境界証明の対象となる境界線を赤で表示してください。境界証明の対象となる当部境界標(点)を明記してください。

⑦ 全部事項登記情報等

関係する土地の登記簿謄本写しを添付してください。

⑧ 境界点成果対比表

申請する箇所の実測座標と既知成果座標、確定座標、公差判定、平均二乗誤差、ベクトル二乗値とその合計、平均二乗誤差などを求める公式と計算値を含めてください。

⑨ 線上垂線計算書

新設筆界点がある場合に作成し、敷地境界線からの離れ距離を明示してください。

⑩ 写真帳

既設境界杭及び新設境界杭等の写真を添付してください。

⑪ その他資料

他の公共機関の図面等があれば、添付してください。

3 留意事項

- (1) 記載例や様式例については、別添をご確認ください。
- (2) 必要に応じてスライド補正をした資料を添付してください。(スライド前とスライド後の境界点成果対比表も必要)
- (3) 『用地境界杭成果表』が記載されているすべての図面について、「日本測地系」または「世界測地系」と記載してください。座標補正を行っている場合は「PatchJGD」も記載をお願いします。
- (4) 同一点(境界標の点)で2種類の点名をつけた場合は、わかるように図面に二段書きで記載願います。
- (5) 申請書類の編纂順序については、様式1(境界証明願)の5. 添付書類に記載した順番に編纂してください。
- (6) 申請書類は、留萌開発建設部公物管理課管理技術スタッフまで直接持込、郵送もしくはメールにて提出願います。

メールによる提出を希望される方は、メールアドレスをご案内いたしますので、お手数ですが事前に留萌開発建設部公物管理課管理技術スタッフまで電話にてお問い合わせください。

様式 1

【記載例】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

留萌開発建設部長 殿

貴社（貴機関）の代表者氏名

住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
申請人 氏名 株式会社〇〇測量設計
代表取締役 〇〇 〇〇
担当者 氏名 〇〇 〇〇
電話 0000-00-0000

境界証明願

下記の土地と、これに隣接する土地との境界証明を申請します。

- 土地の表示 〇〇郡〇〇町〇〇番〇〇号
登記簿上の土地所有者名・住所
- 土地の所有者・住所 〇〇 〇〇 〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号（個人・法人の場合）
〇〇省 〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号（関係機関の場合）
- 隣接する土地の表示 一般国道〇〇号 〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号
〇〇川河川敷地 〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号地先（建設省）
- 境界証明を必要とする理由 分筆登記のため
境界確定及び境界埋設のため
具体的な理由を記載してください
- 添付書類 位置図、測量経過説明書、公図、境界点成果対比表、道路台帳図、河川現況台帳図、垂線計算書、地積測量図、契約書の写し、境界点の写真、その他資料
(添付した資料のみ記載)

境界証明

留建公管第 号
令和 年 月 日

上記土地の境界を承諾する。

留萌開発建設部長

(問い合わせ先)
公物管理課 管理技術スタッフ
TEL 0164-42-2315 (公物管理課直通)

令和 年 月 日

留萌開発建設部長 殿

住所 ○○市○○町○丁目○番○号
申請人 氏名 株式会社○○測量設計
代表取締役 ○○ ○○
担当者 氏名 ○○ ○○
電話 0000-00-0000

境界証明願

下記の土地と、これに隣接する土地との境界証明を申請します。

1. 土地の表示

2. 土地の所有者・住所

3. 隣接する土地の表示

4. 境界証明を必要とする理由

5. 添付書類

位置図、測量経過説明書、公図、境界点成果対比表、道路台帳図、河川現況台帳図、垂線計算書、地積測量図、契約書の写し、境界点の写真、その他資料

境界証明

留建公管第 号
令和 年 月 日

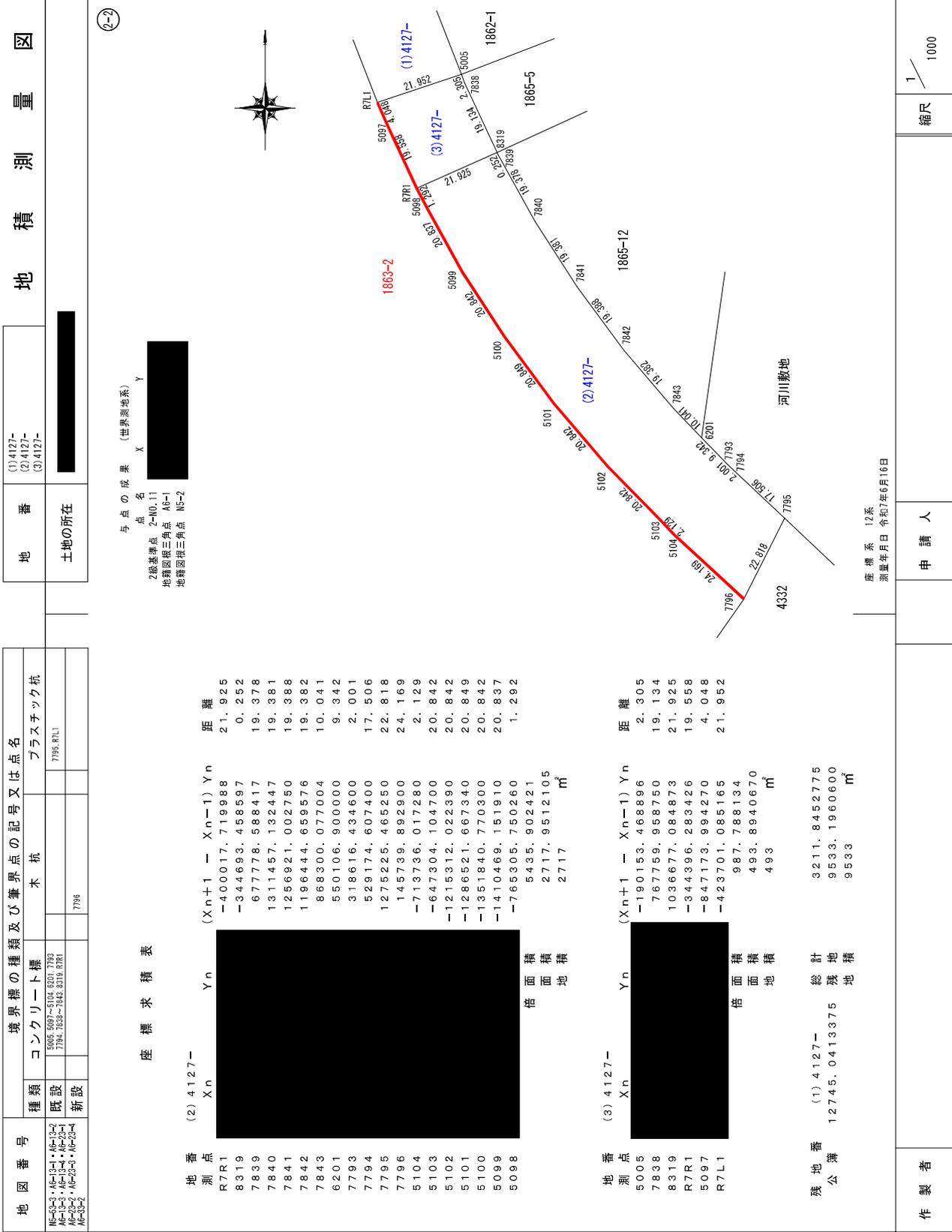
上記土地の境界を承諾する。

留萌開発建設部長

(問い合わせ先)
公物管理課 管理技術スタッフ
TEL 0164-42-2315 (公物管理課直通)

測量経過説明書

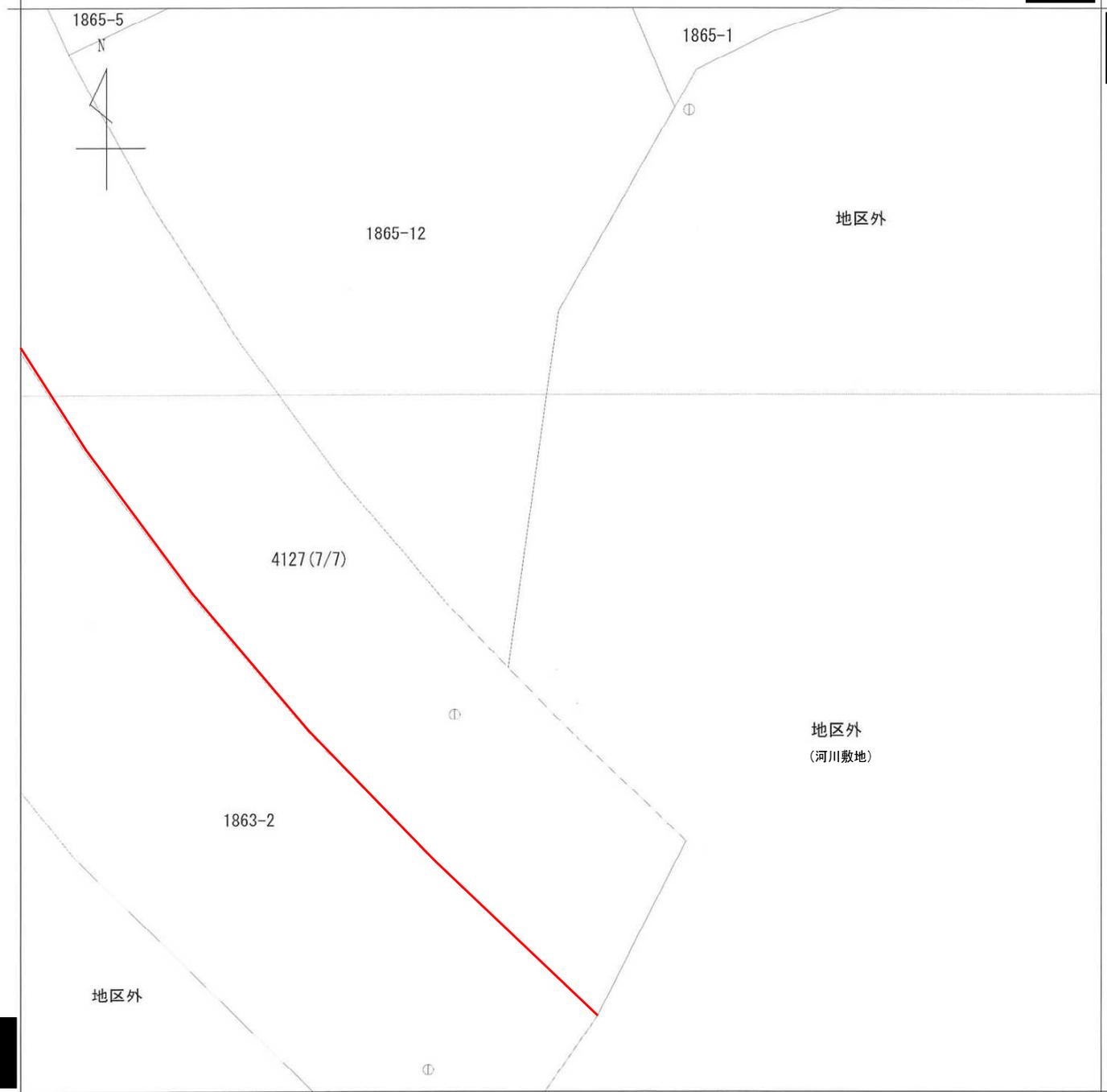
業 務 名	
会社名及び調査員	
履行期間	
測量箇所及び測量区間	
資料区等の種類	
<p>※使用した地図等の名称、精度区分、調査年度を記載する。</p> <p>例 ○○市○○町地区 地籍図 乙1 平成3年度調査</p> <p>字○○地区 土地改良法による区画整理図 甲3 平成15年度調査</p>	<p>境界確定及び調整方法</p> <p>※境界確定に使用した既設点の種類、筆界点の決定及び現地境界杭と整合させるための調整などの方法を記載する。</p>
<p>基準点測量</p> <p>※既設点の名称、新設点の設置及び計算の方法を記載する。</p> <p>例 既知点 II三角点 妹背牛 III三角点 川三線 IV三角点 中島</p> <p>新設点 3級基準点 Y型 8点 厳密水平網平均計算</p> <p>4級基準点 Y型 20点 厳密水平網平均計算</p>	<p>その他問題点と処理方法</p> <p>※問題のあった箇所の内容、打合せ事項及び処理方法等を記載する。</p>
<p>境界杭等の設置方法</p> <p>※中心点、仮中心点、基準点等からの直角視距法、放射法等を記載する。</p>	



記載例

表示年月日：2025/04/16

(座標値種別：測量成果)



(座標値種別：測量成果)



請求部	所在	[Redacted]				地番	[Redacted]		
出力縮尺	1/500	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	X II	分類	地図(法第14条第1項)	種類	地籍図
作成年月日	平成19年12月				備付年月日(原図)	平成21年9月16日		補記項	

座標変換計算簿

様式例

日本測地系				世界測地系				種類
点番	点名	X座標	Y座標	点番	点名	X座標	Y座標	
1				1				
2				2				
3				3				
4				4				
5				5				
6				6				
7				7				
8				8				
9				9				
10				10				
11				11				
12				12				
13				13				
14				14				
15				15				
16				16				
17				17				
18				18				
19				19				
20				20				
21				21				
22				22				
23				23				
24				24				
25				25				
26				26				
27				27				
28				28				
29				29				
30				30				

記載例

線上垂線計算書

測点名	X座標	Y座標	直線	距離	方向角
点A	○○○○○.○○○	○○○○○.○○○	(A - P)	16.031	○-○-○
点B	○○○○○.○○○	○○○○○.○○○	(B - P)	4.204	○-○-○
点C	○○○○○.○○○	○○○○○.○○○	(C - P)	0.001	○-○-○
交点P	○○○○○.○○○	○○○○○.○○○			

道路成果
L 3 9



登記成果
K 4 - 2 4 K

